



# 幸福を守り育てるSDGs



CSR/SDGsコンサルタント、社会情報大学院大学客員教授

「経済産業大臣賞」(最優秀賞) 受賞(2019.5.27)

(第70回 全国能率大会懸賞論文、公益社団法人全日本能率連盟主催・経済産業省後援)

受賞論文題名は、「持続可能性新時代におけるグローバル競争戦略—SDGs活用による新たな価値創造—」

<https://www.zen-noh-ren.or.jp/conference/article-list/>

東京大学法学部卒業。1977年農林省入省。2005年環境省大臣官房審議官、2006年農林水産省大臣官房審議官、2007年関東森林管理局長を経て、2008年退官。同年伊藤園入社、取締役、常務執行役員を経て2019年退職。現在、現在、社会情報大学院大学客員教授。

(主な兼職)日本経営倫理学会理事、グローバルビジネス学会理事、特定非営利活動法人サステナビリティ日本フォーラム理事、学校法人千葉学園評議員、宮崎県小林市「こぼやしPR大使」、文部科学省青少年の体験活動推進企業表彰審査委員(平成26年度より)、地方創生まちづくりフォーラム「まちてん」2016, 2017実行委員長、未来まちづくりフォーラム2019実行委員長、一般社団法人企業研究会主催の連続講座「ESG/SDGs対応フォーラム(笹谷塾)」で講師、通訳案内士資格保有(仏語・英語)

著書 「CSR新時代の競争戦略—ISO26000活用術」(日本評論社・2013年)「協創力が稼ぐ時代—ビジネス思考の日本創生・地方創生」(ウイズワークス社・2015年) 環境新聞ブックレットシリーズ14「経営に生かすSDGs講座」(環境新聞社・2018年)。



▶笹谷秀光の公式サイト—発信型三方よし—

<https://csrsdg.com/>

メルマガ配信ご希望の方はサイトからメールください。

# SDGsの概要

SDGs(Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標)とは

●2015年9月に「国連持続可能な開発サミット」の成果文書として、「我々の世界を変革する: 持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択された。アジェンダは、人間、地球および繁栄のための行動計画として、宣言および目標を掲げた。

●この目標が、17の目標と169のターゲットからなる「持続可能な開発目標(SDGs)」である。今後のサステナビリティを考えるうえでの世界の共通言語として位置付けられる。

●全ての国で取り組む、企業の役割も重視(SDGsコンパスなど)の点がMDGsとは異なる。

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



## 【参考】 持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細

目標1 (貧困)	あらゆる場所のあらゆる形態の貧困を終わらせる。
目標2 (飢餓)	飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する。
目標3 (保健)	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する。
目標4 (教育)	すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する。
目標5 (ジェンダー)	ジェンダー平等を達成し、すべての女性及び女児の能力強化を行う。
目標6 (水・衛生)	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する。
目標7 (エネルギー)	すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する。
目標8 (経済成長と雇用)	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する。
目標9 (インフラ、産業化、イノベーション)	強靱(レジリエント)なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る。
目標10 (不平等)	各国内及び各国間の不平等を是正する。
目標11 (持続可能な都市)	包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する。
目標12 (持続可能な生産と消費)	持続可能な生産消費形態を確保する。
目標13 (気候変動)	気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる。
目標14 (海洋資源)	持続可能な開発のために海洋・海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する。
目標15 (陸上資源)	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する。
目標16 (平和)	持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する。
目標17 (実施手段)	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する。

(出典) 外務省ホームページ

[http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/doukou/page23\\_000779.html](http://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/about/doukou/page23_000779.html)

# 日本再興戦略とESG

<「日本再興戦略」改訂2014>

アベノミックス第3の矢の一環：資本市場へはスチュワードシップ・コード、企業へはコーポレートガバナンス・コードが整備。

スチュワードシップ・コード  
資本市場：顧客資産の運用  
資本リターンの着目した投資

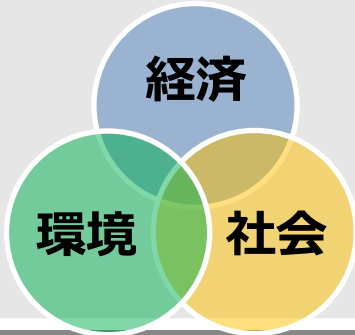
機関投資家などがスチュワード(顧客からその資産の管理を委ねられた者)として、投資先の上場企業に対して持続的成長を促すための行動規範

コーポレートガバナンス・コード  
企業：投資資金の受入れ  
持続可能な成長に向けた企業戦略

上場企業のさまざまなステークホルダーとの関係を踏まえた適正なコーポレートガバナンスと、持続的成長を実現するための行動規範

日本経済の持続可能な成長に向けて

トリプルボトムライン



ESG

環境 (Environment)  
社会 (Social)  
ガバナンス (Governance)



# 持続可能性をめぐるタイムライン

2015年は、ESG元年／2018年は、SDGs 実装元年

「パリ協定」

E

E

S

G

「コーポレート  
ガバナンスコード」

G



2020

東京五輪・パラリンピック

2025

2025年日本万国博覧会の大坂招致構想

2030

世界が合意した持続可能な開発目標の達成





## 第1回「ジャパンSDGsアワード」受賞団体

### SDGs推進本部長(内閣総理大臣)賞

北海道下川町

### SDGs推進副本部長 (内閣官房長官)賞

- 特定非営利活動法人しんせい
- パルシステム生活協同連合会
- 金沢工業大学

### SDGs推進副本部長 (外務大臣)賞

- サラヤ株式会社
- 住友化学株式会社

### SDGsパートナーシップ賞(特別賞)

- 吉本興業株式会社
- 国立大学法人岡山大学
- 株式会社伊藤園
- 公益財団法人ジョイセフ
- 江東区立八名川小学校
- 福岡県北九州市



外務省 ホームページより [https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sdgs/japan\\_sdgs\\_award\\_dai1/siryou2.pdf](https://www.kantei.go.jp/jp/singi/sdgs/japan_sdgs_award_dai1/siryou2.pdf)

# ジャパンSDGsアワード受賞団体（第2回）15団体

## <第2回表彰企業・団体等一覧>

### 【SDGs推進本部長（内閣総理大臣）表彰】

- 🍷 株式会社日本フードエコロジーセンター

### 【SDGs推進副本部長（内閣官房長官）表彰】

- 🍷 日本生活協同組合連合会
- 🍷 鹿児島県大崎町
- 🍷 一般社団法人ラ・バルカグループ

### 【SDGs推進副本部長（外務大臣）表彰】

- 🍷 株式会社LIXIL
- 🍷 特定非営利活動法人エイズ孤児支援 NGO・PLAS
- 🍷 会宝産業株式会社

### 【特別賞「SDGsパートナーシップ賞」】

- 🍷 株式会社虎屋本舗
- 🍷 山陽女子中学校・高等学校地歴部
- 🍷 株式会社大川印刷
- 🍷 株式会社ヤクルト本社
- 🍷 SUNSHOW GROUP
- 🍷 産科婦人科館出張 佐藤病院
- 🍷 株式会社滋賀銀行
- 🍷 株式会社フジテレビジョン

# 選定されたSDGs未来都市

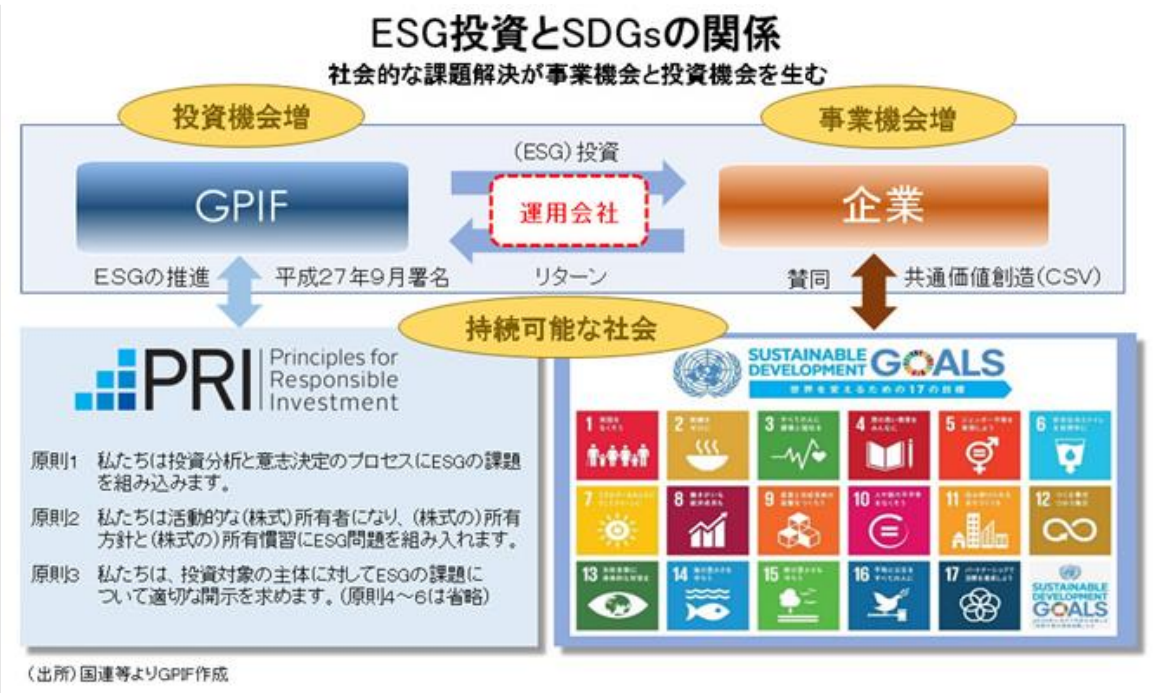
緑字：SDGs未来都市（自治体SDGsモデル事業含む）  
 青字：SDGs未来都市  
 ※道県が選定されている場合は道県全域を着色。



出典：国土地理院ウェブサイト (<https://maps.gsi.go.jp/>) の白地図をもとに作成

都道府県	都府市名	概要タイトル
SDGs未来都市 (自治体SDGsモデル事業含む)	北海道ニセコ町	環境を生かし、資源、経済が循環するSDGsモデル 「サステナブルタウンニセコ」の構築
	北海道下川町	未来の人と自然が調和しあふ町プロジェクト2030
	神奈川県	UICの輝（神奈川）持続可能なAI スマイル100歳社会の実現
	神奈川県横浜市	SDGs未来都市・横浜 ～「道徳」による「大都市モデル」創出～
	神奈川県鎌倉市	持続可能な都市経営「SDGs未来都市がまぐり」の創造
	富山県富山市	コンパクトシティ戦略による持続可能な付加価値創造都市の実現
	岡山県真庭市	地域エネルギー自給率100% 2030「SDGs」未来都市真庭の実現 ～先駆的に発展する農山村のモデルを目指して（私財が活用できる都市）～
	福岡県北九州市	北九州市SDGs未来都市
	長崎県舌岐市	持続可能な自治体社会「持続（サ）Society 5.0」
	熊本県小国町	地産と森林の恵み、人とのつながりから持続可能なまちづくりを創出して
SDGs未来都市	北海道	北海道道庁を核とした広域SDGsモデルの構築
	北海道札幌市	次世代の子のたがが活躍できる持続可能な都市・ 「環境首都-SAPPORO」
	宮城県亶松島市	全世代グローバルシティ（亶松島）
	秋田県仙北市	IoT・水素エネルギー利用推進型都市
	山形県飯豊町	農村計画研究所の活用 「2030年の「日本で最も美しい村」で実現をめざして」
	茨城県つくば市	つくばSDGs 未来都市先導プロジェクト
	石川県珠洲市	縮退の美観「未来都市」への挑戦
	香川県上勝町	山山と暮らしを次世代へ贈る「白山SDGs未来都市2030ビジョン」
	長野県	学びと自然の力による「自立・分業型社会」の形成
	静岡県静岡市	「世界に誇れる静岡」の実現 静岡市 5大構想×SDGs
	静岡県浜松市	浜松が五十年、八十年先の世界を創ります
	愛知県豊田市	みんながつかえる ミライにつながるスマートシティ
	三重県志摩市	持続可能な観光圏の創生
	大坂府堺市	「向山と向海の精神を継ぎ、誰もが輝くで活躍する気風あるまち」
	奈良県十津川村	持続可能な森林保全及び観光振興による十津川村SDGsモデル構築（仮称）
	岡山県岡山市	誰もが活躍でき喜び合い、生涯活躍するまち6か月の成長
	広島県	SDGsの達成に向けて平和の活動を生み出す「国府平和岡山」の取組を加速する～「サステナブルタウン」プロジェクトによるSDGsの推進の強化～
山口県宇部市	「人材が豊か、みんなが笑顔」で「多世代SDGs推進事業 ～「共存利便・国府一校」の事業の進化～」	
徳島県上勝町	SDGs×SHLx「Sustainable Happy Lives」 持続可能な幸福な生活	





『GPIFが日本株指数の「JPX日経インデックス400」に採用されている企業を対象に2017年2月から3月にかけて実施したアンケート調査では、「SDGsへの取り組みを始めている」と回答した企業が24%、「SDGsへの取り組みを検討中」と答えた企業も21%を占めました。SDGsに賛同する企業が17の項目のうち自社にふさわしいものを事業活動として取り込むことで、企業と社会の「共通価値の創造」（CSV=Creating Shared Value）が生まれます。その取り組みによって企業価値が持続的に向上すれば、GPIFにとっては長期的な投資リターンの拡大につながります。GPIFによるESG投資と、投資先企業のSDGsへの取り組みは、表裏の関係にあるといえるでしょう。』

(出典) 図版・文章抜粋ともにGPIFホームページより <http://www.gpif.go.jp/operation/esg.html#b>

(3) ESGとSDGsの関係② - 笹谷秀光氏 (伊藤園顧問) による相関整理 -

事務局説明資料

2018年11月  
経済産業政策局  
産業資金課

- ESG投資とSDGsの関係をマトリクスで整理。伊藤園の統合報告書においても活用。

「この結果を見て、17目標への対応で弱い部分はないか検証し、ある場合はESG項目にフィードバックしていく。この社会課題起点のアプローチ（「アウトサイド・イン」という）を活用して作業を行っていくのである。これにより、企業としては的確にESG投資に応え、かつ、社会課題解決にSDGsを使って持続可能な社会づくりにも貢献できる。」【関連抜粋】

●印は主に関連するSDGs、○印は関連するSDGs

ESG	7つの中核主題	ESG重要課題 (マテリアリティ)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
G	組織統治	コーポレートガバナンス																		●	
		リスクマネジメント																			●
		コンプライアンス																			●
	公正な事業慣行	公正な取引の遵守																			○
		サプライチェーンマネジメント																			○
	人権	人権の尊重		○																	
		労働慣行	人事・福利厚生			●	●	●													
		従業員の健康・安全				●															
		人材育成					●	●													
	消費者課題	製品の品質と安全性																			
健康価値(健康と栄養性)																				○	
製品のパッケージング情報公開																				●	
製品の求めやすさ																				○	
公正なマーケティングと広告																				○	
コミュニティへの参画 及びコミュニティの発展	個人情報の保護																			○	
	コミュニティと人権課題		●																	●	
	コミュニティと地域活動																			○	
	コミュニティと産業育成																			○	
	コミュニティと環境・文化																			○	
環境	コミュニティの震災復興支援																			○	
	気候変動																			●	
	大気汚染の防止																			●	
	省エネルギー推進																			○	
	生物多様性の保全																			●	
E	水の管理																			●	
	廃棄物とリサイクル																			○	

出所：http://www.camri.or.jp/files/libs/1080/201805071601099388.pdf

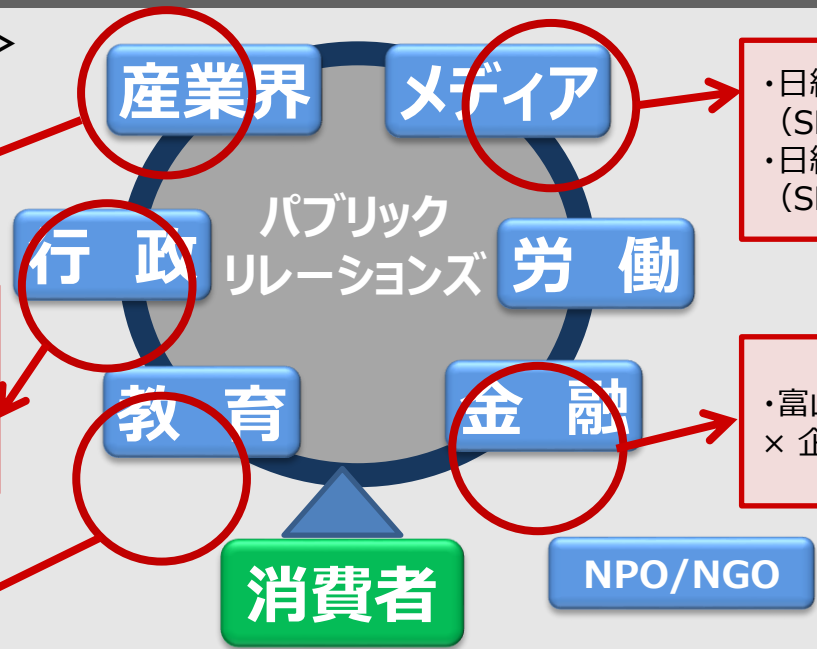
## 活動の共通基盤(プラットフォーム)

### <企業参画の連携・協働の事例>

- ・住友化学 × 海外企業
- ・伊藤園 × 自治体 × 農家
- ・パナソニック × NPO/NGO・国際機関
- ・エプソン × 金融機関 × 自治体等

- ・(政府) ジャパンSDGsアクションプラットフォーム
- ・大野市 × 水に関する企業および団体
- ・下川町 × 企業 × 教育機関
- ・真庭市 × 企業 × 関係者
- ・北九州市 × 市民団体 × 自治会 × NPO

- ・金沢工業大学 × 地元関係者
- ・岡山大学 × 海外教育機関
- ・東京大学 × 企業
- ・千葉商科大学 × 関係者「再生エネルギー100%」
- ・学校法人先端教育機構「SDGs総研」



- ・日経ESG経営フォーラム (SDGsとESG)
- ・日経BPコンサルティング (SDGsデザインセンター)

- ・富山大学 × 魚津市 × 企業 × 地元金融機関

PPAP : Public Private Action for Partnership  
消費者の選ぶ力と参画でパートナーシップの強化へ

# SDGs経営時代

SDGsアクションプラン2019

